

インバウンド促進のための交通ネットワーク形成

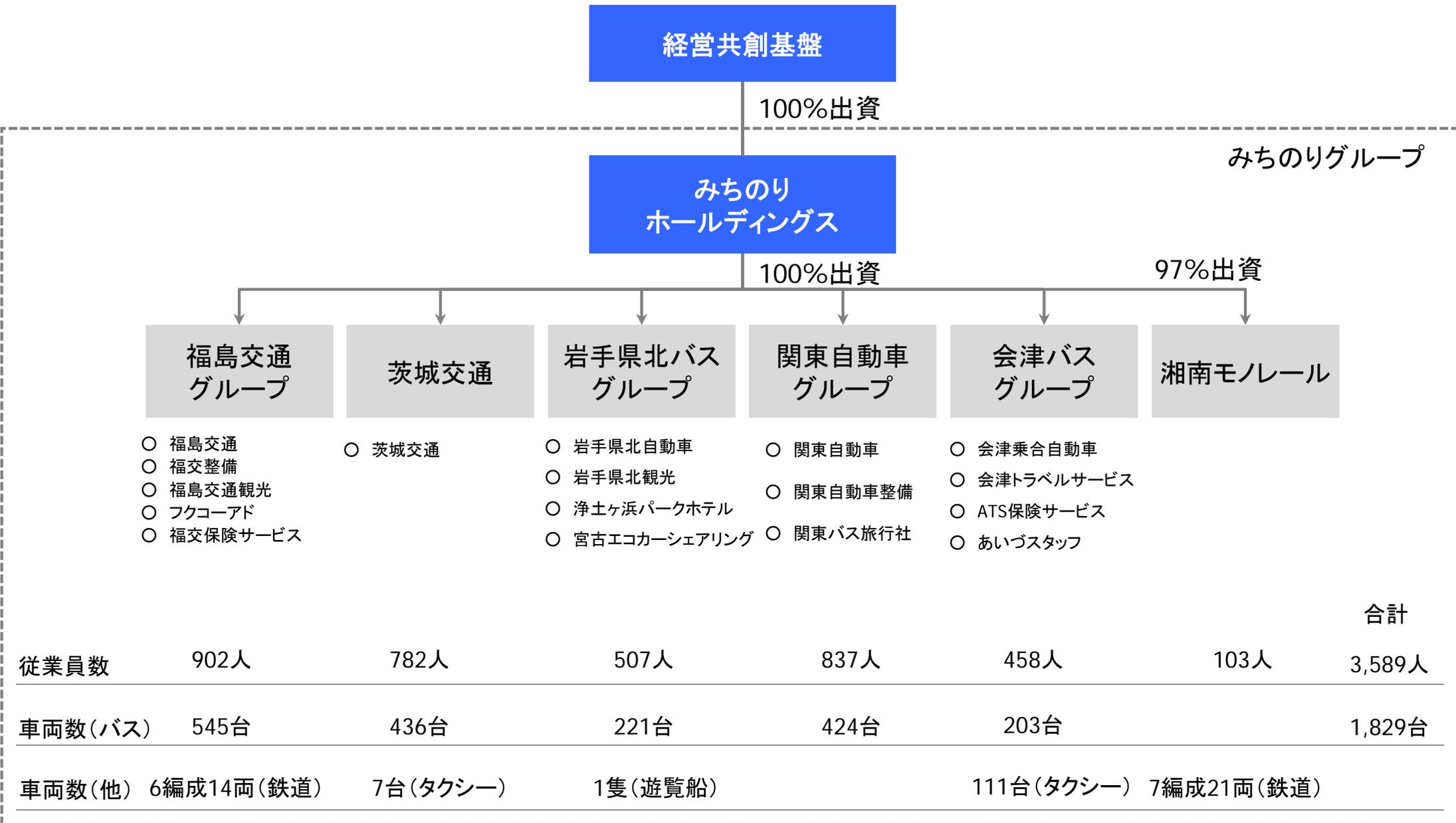
株式会社みちのりホールディングス 代表取締役社長
松本 順



2016年3月2日

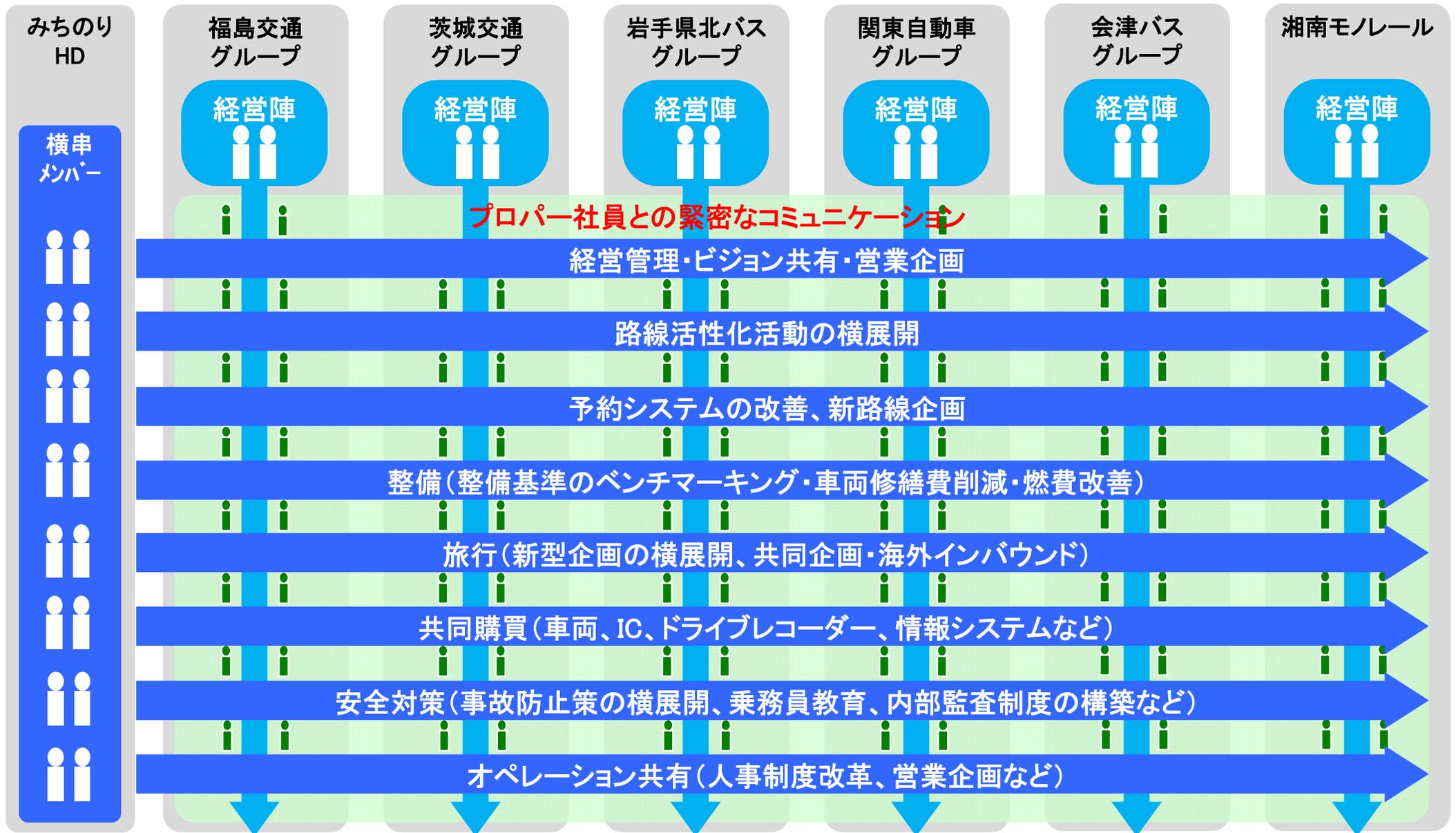
株式会社みちのりホールディングス
Michinori Holdings, Inc.

みちのりグループ各社



※ 2015年9月30日現在

グループ経営「縦串と横串」

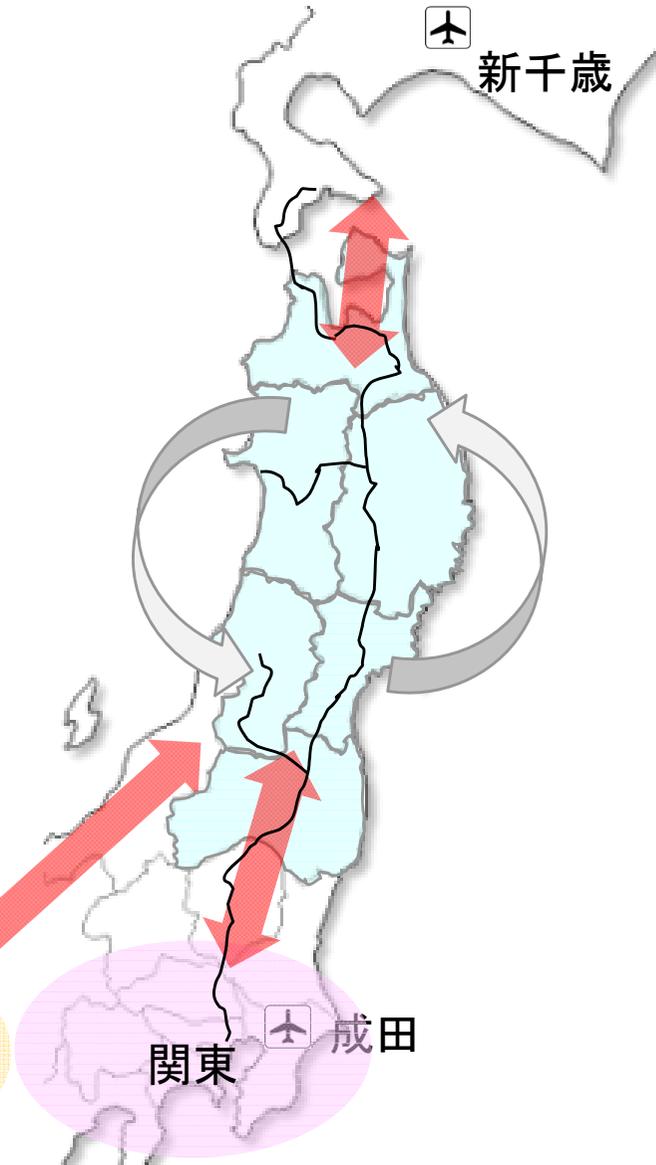


注)人数はイメージ

シームレスな交通ネットワークの形成

(1) 東北バス・フリーパス、そして...

— 新幹線



東北バス・フリーパス (協議中)

飛躍へのカギ

隣接エリアアクセス

- ✓ 関東・北海道との一体化
- ✓ 外国人のみならず、邦人にも販売

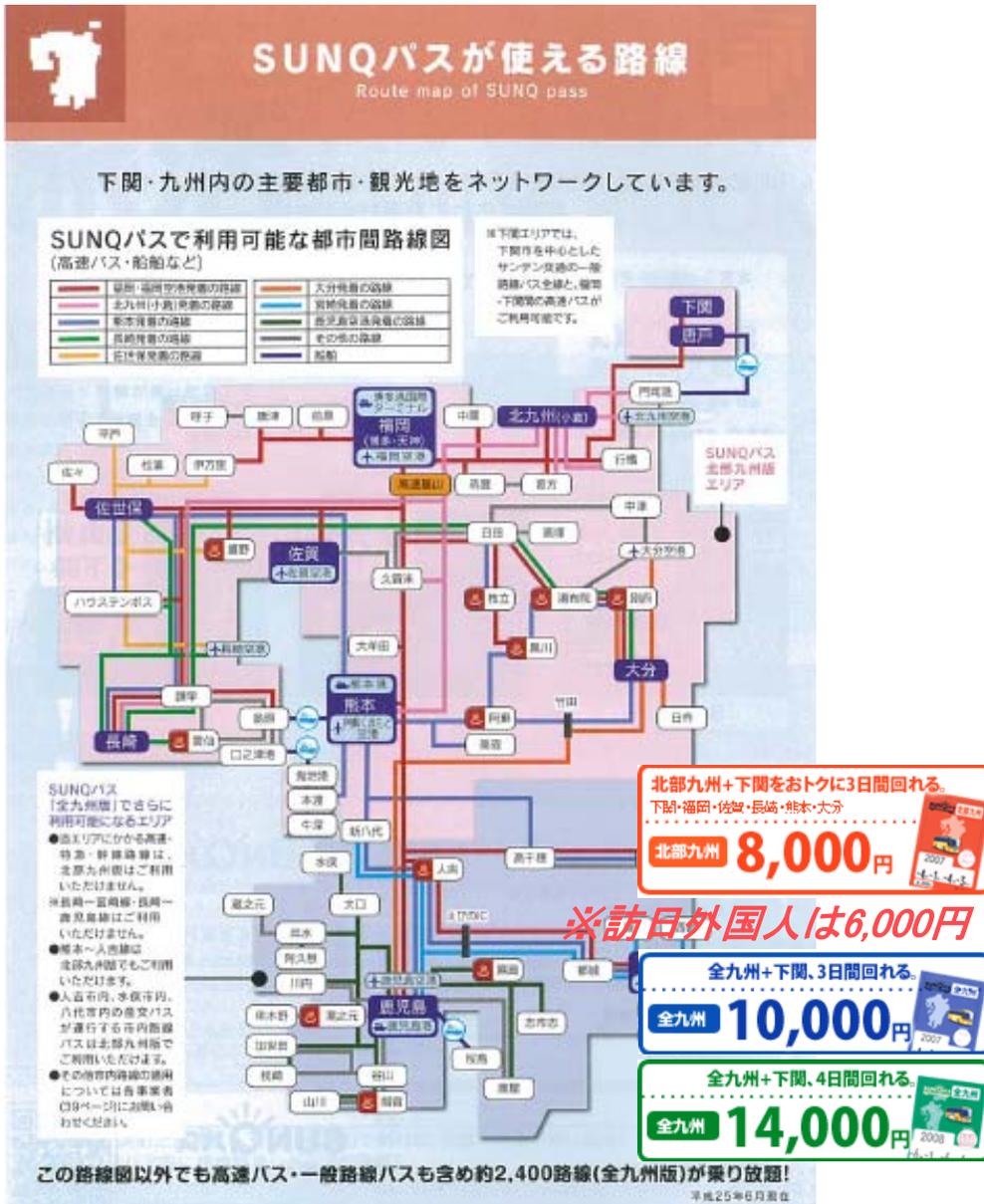
レール&バス

- ✓ レールとも一体化

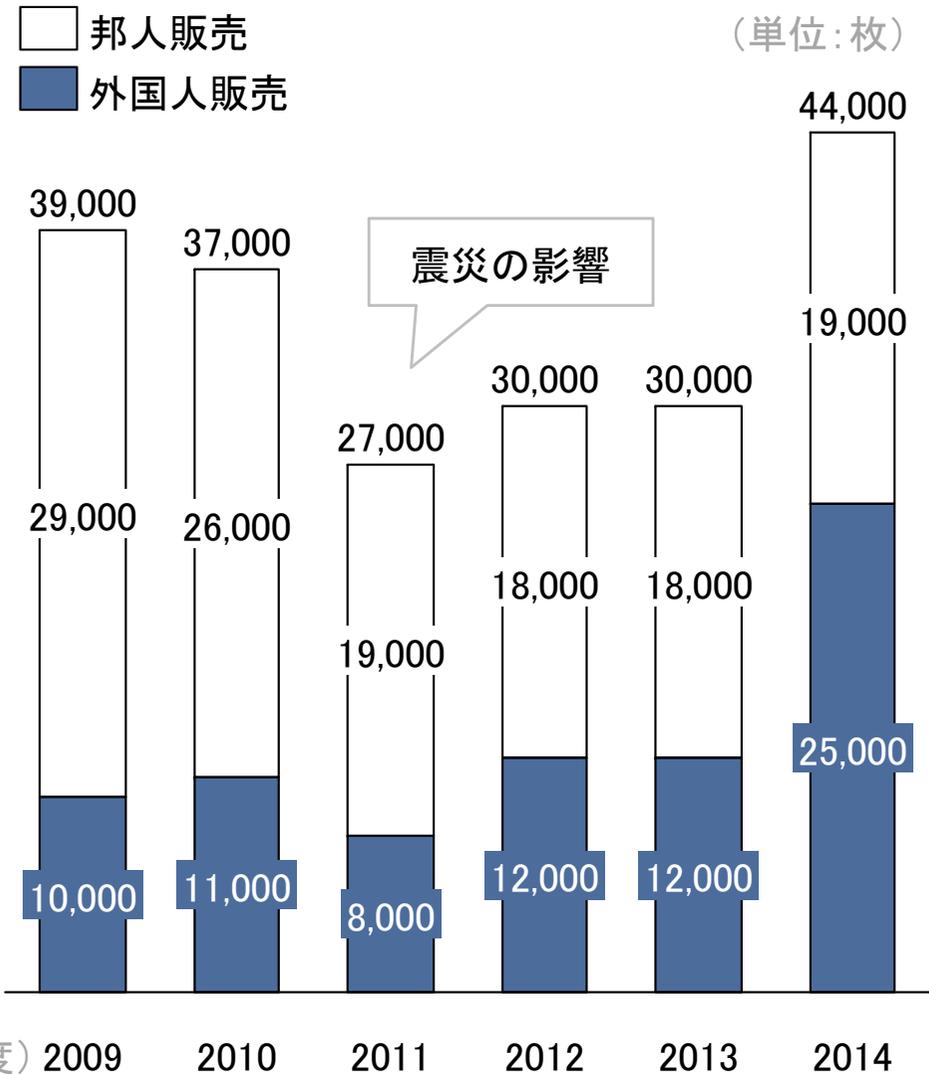
〈海外の事例〉

スイスパス(スイス国内の国鉄・私鉄・バス等が3~15日間利用できる周遊パス)

参考) 地域バス・フリーパス先行事例 (九州)

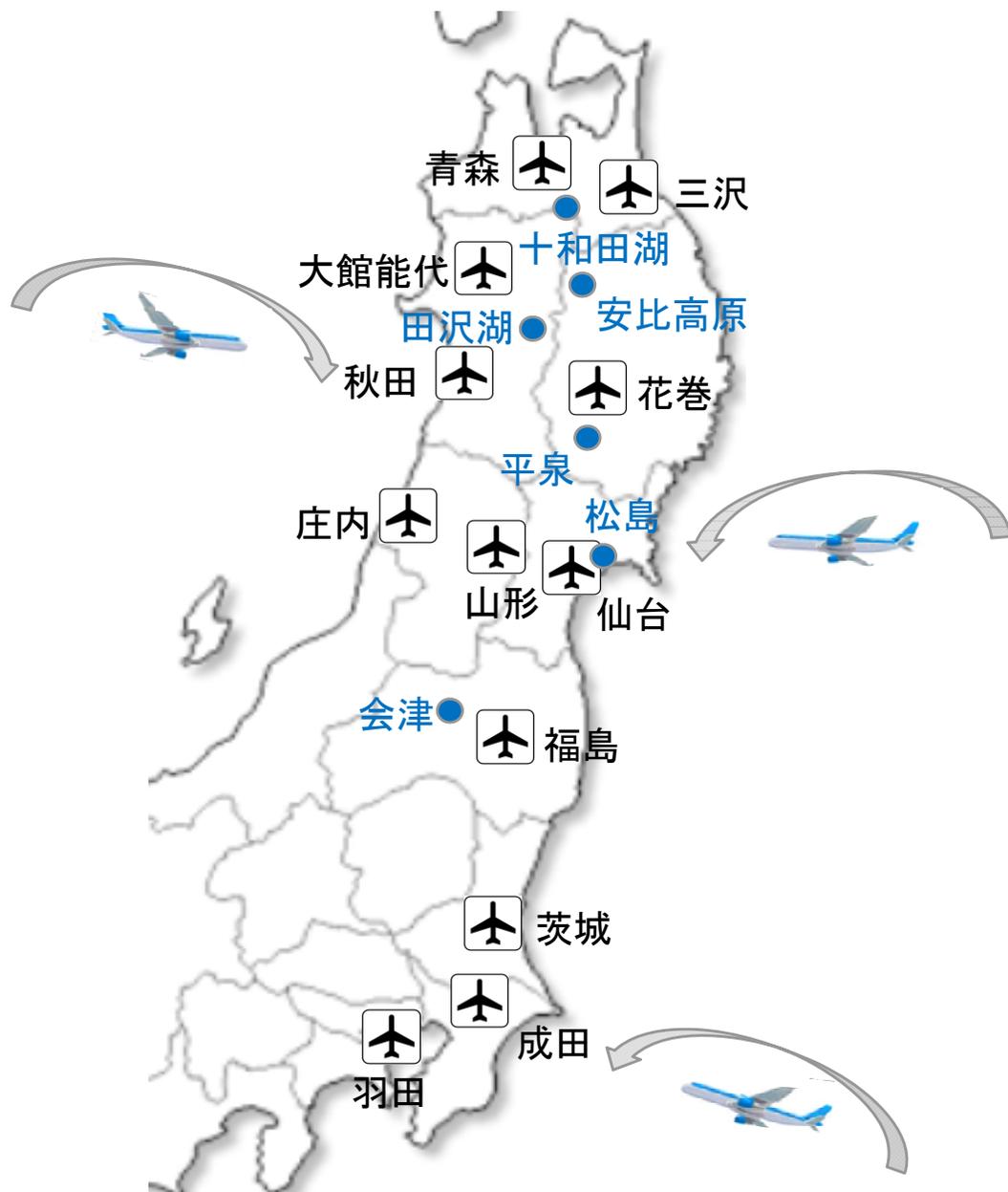


SUNQパス 販売枚数実績の推移



西日本鉄道株式会社へのヒアリングによる

(2) エアラインとバスのネットワーク



最終目的地まで一気通貫のチケット

みちのりグループの取組事例

【運行中】

- ✓ 仙台空港 ⇄ 盛岡 ⇄ 安比高原
(2015年12月～)
＜ピーチ機内で乗車券購入可＞

【運行予定】

- ✓ 成田空港 ⇄ 宇都宮 ⇄ 日光
(2016年4月計画)

【計画中】

- ✓ 仙台空港 ⇄ 福島 ⇄ 会津
- ✓ 仙台空港 ⇄ 松島 ⇄ 三陸海岸
- ✓ 成田空港 ⇄ 郡山 ⇄ 猪苗代 ⇄ 会津
羽田空港

【目的】

風化を防ぎ、国民の防災意識を高める

被災地の交流人口の回復

(例1) 日本郵船株式会社 新入社員研修

◆ツアーのねらい◆

復興現場で奮闘する人々との交流を通し、自らの業務に係る「責任」「社会的役割」「使命」を考える。



『ボランティア体験』



『課題解決 ワークショップ』

行程(4泊5日)

1日目	22:00 東京発
2日目	8:00 大槌着
	9:00 大槌町内語り部ガイド
	13:00 地元の人々とボランティア活動 18:00 振り返り
3日目	9:00 地元の人々とボランティア活動
	16:00 発災時の葛藤に関するワークショップ
	18:00 振り返り
4日目	9:00 地元の人々とボランティア体験
	16:00 復興の課題に関するワークショップ
	18:00 振り返り
5日目	8:00 研修のまとめ
	13:30 新花巻駅解散

～参加者の声～

- ・ 同期 = 仲間 = 大切な存在という意識が芽生えた。周りの人を大切にする生き方をしていきたいと思った。
- ・ 社会人として会社以外の世界にも興味を持ち、どう関わっていくべきなのかを考えさせられた。

(例2) 立命館大学インドネシア政府防災研修

◆ツアーのねらい◆

復興現場の視察と行政・企業・住民との対話を通して、震災の教訓と今後起こりうる災害への知恵を得る。

『行政職員及び住民との対話』



『被災地視察（フィールドワーク）』



行程(2泊3日)

1日目	8:00 大阪伊丹空港発 11:30 陸前高田市内視察 13:30 大船渡市役所による体験談 18:00 宿舎着
2日目	8:00 大槌町視察・ワークショップ 14:00 釜石市にて住民との対話 17:30 宿舎着
3日目	9:00 宮古市職員案内による田老地区視察 12:00 宮古⇒仙台 16:00 東北大学災害科学研究所視察 20:00 東京着解散

～参加者の声～

自身も2004年のインド洋大津波で被災した経験がある。復興計画に住民の意見をしっかりと反映させることの重要性を改めて感じた。東北で学んだことをインドネシアでも活かしたい。

(例3) 神奈川県大和市こども体験事業実行委員会

◆ツアーのねらい◆

小中学生が被災地での様々な体験を通して震災に対する理解を深め、社会に貢献する意識や思いやりの心を育む



『地元の方々とのふれあい』



『学びを深める振り返り』

行程(2泊3日)

1日目	8:00 大和市⇒東京発 15:30 陸前高田市着 16:30 地元住民とうごく七夕祭りに参加 21:30 宿舎着
2日目	9:30 陸前高田市長による体験談 11:00 仮設住宅に住む方々と交流 14:00 陸前高田市内フィールドワーク 18:00 宿舎着、振り返り
3日目	9:00 一本松茶屋でお買い物 10:30 気仙沼復興商店街見学・昼食 13:30 一ノ関発 16:30 東京着⇒ 19:00 大和市解散

～参加者の声～

人を助けたり元気にさせたりするにはどうすればよいかを考えられる人になりたい。数年後の社会の中心になるのは私たちだから、これを機に災害についてしっかりと意識するべきだと思った。

いわて復興ツーリズム推進協議会

○会長	岩手県立大学	中村学長
○副会長	宮古市	山本市長
	ジェイティビー東北	千葉社長
○監事	三陸鉄道	望月社長

【実績】

H25年度	64案件	1,604名
H26年度	74案件	1,725名
H27年度 (28年1月現在)	84案件	1,705名

【構成団体】

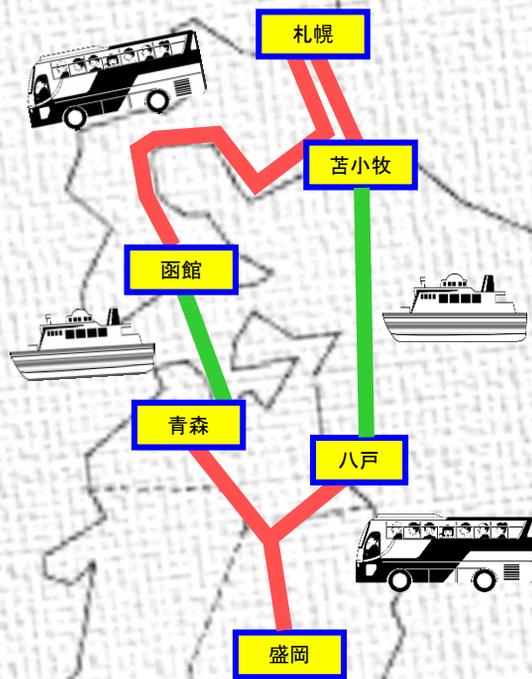
- ◆ 岩手県沿岸広域振興局
- ◆ 宮古市
- ◆ 宮古観光文化交流協会
- ◆ 三陸鉄道(株)
- ◆ 岩泉町
- ◆ NPO体験村たのはたネットワーク
- ◆ 山田町観光協会
- ◆ 新生やまだ商店街協同組合
- ◆ (一社)おらが大槌夢広場
- ◆ 岩手県立大学
- ◆ 立命館大学
- ◆ (株)ジェイティビー
- ◆ (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- ◆ 富士ゼロックス(株)
- ◆ 岩手県北自動車(株)(事務局)
- ◆ 他

課題

教育旅行への展開

俺の旅 …北のまち

高速バス&フェリーで一周！ 北東北・北海道周遊セット券



価格；大人
13,380円

有効期間
H28.1/12～H28.3/31
(80日間)

発売場所；
盛岡バスセンター
盛岡駅前バス案内所
弘南バス青森総合案内所
南部バスラピアバスターミナル

東京からのお得なセットプランも！

東京→盛岡間夜行高速バス「岩手きずな号」(片道)+「俺の旅、北のまちきっぷ」
東京発で平日17,380円！休日休前日18,380円！

お申込みは裏面から専用WEBサイトへ

北東北・北海道周遊セット券～俺の旅、北のまちキップ～

北東北・北海道周遊セット券 ～俺の旅、北のまちキップ～とは・・・

本券は高速バスとフェリーを乗り継いで、北東北（岩手・青森）と北海道を周遊できるセットきっぷです。
セットきっぷ1枚購入ごとに下記路線・航路を有効期間内に各1回ご利用いただけます。

・利用可能路線

- ①盛岡～八戸 間（高速バス八盛号）
- ②八戸～苫小牧 間（シルバーフェリー）
- ③苫小牧～札幌 間（高速バスとまこまい号）
- ④盛岡～青森 間（高速バスあすなろ号）
- ⑤青森～函館 間（津軽海峡フェリー）
- ⑥函館～札幌 間（高速バスはこだて号）
- ⑦函館フェリーシャトルバス

【セットきっぷの価格】

大人 13,380円

【利用期間】

平成28年1月12日（火）～平成28年3月31日（木）



専用WEBはこちらから

俺の旅、北のまちきっぷの使い方 ～自分なりの旅を創ってみましょう～

- ① 出発日と旅行する日程を決めましょう！
このセット券は有効期間内であれば利用する方が自由に日程を決められます。弾丸ツアーで最短期間で回るもよし、有効期間を目いっぱい使いきるのもよし。決めるのはアナタ次第です。
- ② 出発場所を決めましょう！
今回のセット券の出発地点は本州側の3ヶ所のみです。岩手県の盛岡市か？青森県の青森市？それとも八戸市？
回る方向も考えてスタート場所を決めましょう。
- ③ 右回りルートか、左回りルートかを決めましょう！
このセット券の最大の特徴が回る方向を決めることです。スタート地点から右回り（時計回り）か、左回り（反時計回り）のどちらか一方のみで使用できます。各路線・航路のバス・フェリーはそれぞれ1回のみ利用可能。したがって「バック禁止!!」です。
- ④ 乗車前に予約を取っておけば、なお安心！
7路線・航路の内、予約制のものが2つあります。事前に予約を取っておけば、当日空席があるかどうか気にしなくとも良いのでなお安心です。予約なしだと当日満席で乗れない（泣）ケースもありますので、ぜひ事前予約を！（予約先は下記）
- ⑤ セット券を買ってスタートです！

ルート・時刻はお客様が自由に決められます。
専用サイトを参考に「俺の旅」を創り上げて下さい。
（もちろん女性も大歓迎です・・・）

《モデルコース例；弾丸コース右回りの場合》

Day1 盛岡駅10:05---(あすなろ号)---青森港13:10-14:20～～～
～～～(津軽海峡フェリー)～～～函館港18:00-18:30---
---函館駅18:50...(FREE)...函館駅23:25---(はこだて号)---

Day2 ---札幌駅5:25...(FREE)...札幌駅21:00---(とまこまい号)---
---苫小牧港22:51-23:59～～～(シルバーフェリー)～～～

Day3 ～～～八戸港7:30-8:00---(八盛号)---盛岡駅10:52

お問い合わせ	岩手県北バス	019-641-1212
予約申込	シルバーフェリー	0120-539-468・011-241-8268(札幌)
	高速はこだて号	011-231-0600(札幌)・0138-22-3265(函館)